



大原美術館



倉敷考古館

睡蓮株分け

今年の春先に、恒例行事でも

ある、大原美術館の工芸・東洋館横にある「モネの睡蓮の池」の睡蓮の株分けを行いました。

睡蓮の花は、2000年にフランス・ジヴェルニーの「クロード・モネ」邸宅の庭から株を分けていただき、株分けを行い、数を少しずつ増やしながら現在へと続いております。

睡蓮は、例年5月中旬～10月上旬頃までが見頃となり、大きく、きれいなピンク色と黄色の可憐な花を咲かせ、花が咲き終わった後、冷たい水の中でじつと冬を越し、暖かくなってきた3月末～4月上旬頃に株分けされます。今年は5月15日に一輪目となるピンクが開花しました。



今年も、大原美術館の多岐にわたる植栽の手入れで大変お世話になっていらっしゃる佐藤溪松園さんに来ていただき、土の入れ替え・

睡蓮鉢の洗浄・株の分割と、いろいろなことを教えていただきながら営繕職員も一緒に作業を行いました。今年も無事にアクシデントなく作業が終わり、ほつと胸をなでおろしております。また、池の水を全て抜くこのタイミングしか、池の周りや内部の大掃除ができないため、皆で一丸となって残った藻や苔、



ぬめりをたわしで念入りにこそぎ落とし、例年以上にきれいになりました。

今年も昨年同様、良い苗をたくさん株分けすることができました。睡蓮を愛でに来てくださるお客さまのためにも、昨年を超える開花数を目指し、肥料を与える回数、1回に入れ込む量、栄養素の配合等、試行錯誤しながら頑張っております。



あらためてとなりますが、睡蓮の花は、例年5月中旬～10月上旬頃までが見頃となっております。

この記事を読んでくださっている皆さまも時間がありません、改修工事でも無事に終わりました、新しくなった大原美術館に遊びに来ていただき、絵画《睡蓮》と「モネの睡蓮の池」の睡蓮をぜひ、ご覧いただけますと幸いです。

(営繕・警備チーム

竹内 聡司 記)

